

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-119003

(43) 公開日 平成9年(1997) 5月6日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 4 1 B 11/14

A 4 1 B 11/14

B

11/00

11/00

B

// A 4 1 C 1/00

A 4 1 C 1/00

F

審査請求 有 請求項の数 3 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平7-299156

(22) 出願日

平成7年(1995)10月24日

(71) 出願人 000006873

株式会社レナウン

東京都渋谷区神宮前2丁目34番18号

(72) 発明者 岡 利恵子

東京都江東区越中島1-1-2 株式会社
レナウン本社越中島別館内

(72) 発明者 湯前 義一

熊本県人吉市下原田町字荒毛1400 ユニチ
カパークシャー株式会社熊本工場内

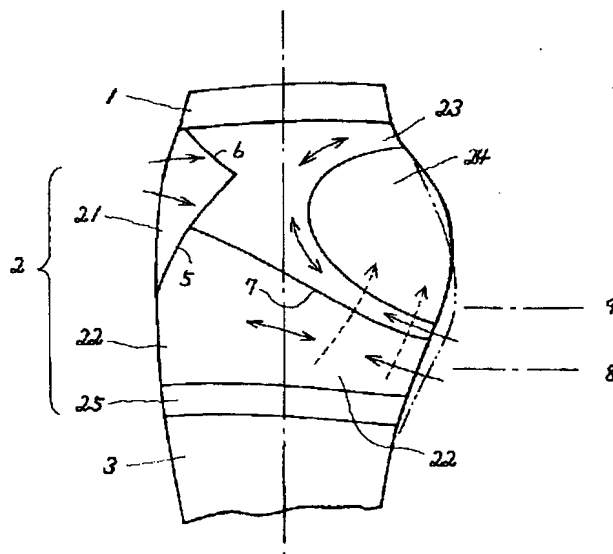
(74) 代理人 弁理士 大野 克躬 (外1名)

(54) 【発明の名称】 パンティストッキング

(57) 【要約】

【課題】 腹部の膨出抑制効果及びヒップアップ効果に優れたガードルタイプのパンティストッキングを得る。

【解決手段】 伸縮糸によりレッグ部、パンティ部、ウエスト部が一体的に編成されたパンティストッキングであって、パンティ部が、人体ヒップの左右の膨みに対応した左右一対からなる丸形状部分、パンティ部の腹部のウエストバンドからマチ部にかけてのダイヤ形状部分、該ダイヤ形状部分の脚上端付近を起点とし、パンティ部の後部ではヒップラインの上側に位置するヒップ補整ラインとレッグ部との間の上レッグ帯状部分、前記ヒップ補整ラインとウエストバンドとの間の前記丸形状部分を除いたヒップ周辺部分から構成され、上記各部分の編組織を異ならせることによって、ダイヤ形状部分が最も締付力を強く、以下順に上レッグ帯状部分、ヒップ周辺部分、丸形状部分と締付力を小さくした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 伸縮糸によりレッグ部、パンティ部、ウエスト部が一体的に連続編成されたパンティストッキングであって、パンティ部が、人体ヒップの左右の膨みに対応した左右一対からなり、夫々が対応するヒップの頂部を含み、且つ、各ヒップの自然状態での膨みに対して上方に偏位している丸形状部分、パンティ部の腹部のウエストバンドからマチ部にかけて、股下部分を通るVラインと腹部略中央から両サイドに向けて斜に下行するラインとで囲まれたダイヤ形状部分、前記Vライン上の脚上端付近を起点としパンティ部の側方から後部に向かうに連れて下行しパンティ部の後部ではヒップラインの上側に位置するヒップ補整ラインとレッグ部との間に設けた上レッグ帯状部分、前記ヒップ補整ラインとウエストバンドとで囲まれた部分であって、前記丸形状部分を除いたヒップ周辺部分から構成され、上記各部分の編組織を異ならせることによって、ダイヤ形状部分が最も締付力を強く、以下順に上レッグ帯状部分、ヒップ周辺部分、丸形状部分と締付力を小さくしたことを特徴とするパンティストッキング。

【請求項2】 上記丸形状部分をプレーン組織により編成し、ダイヤ形状部分を2×2リブ組織により編成し、上レッグ帯状部分を1×1リブ組織により編成し、ヒップ周辺部分を1×1メッシュ組織にて編成したことを特徴とする請求項1記載のパンティストッキング。

【請求項3】 上記丸形状部分を、局所的な度目調節により、その部分における編目ループを拡大した立体編成としたことを特徴とする請求項2記載のパンティストッキング。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、パンティストッキングに関し、更に詳しくは体型補整機能を付与したガードルタイプのパンティストッキングに係わるものである。

【0002】

【従来の技術】従来、パンティ部前側部分と、パンティ部後側のヒップライン以下の部分とをメッシュ編等、編目の密な締付力の大きい組織にて編成し、パンティ部後側のヒップライン以上の部分をプレーン編等締付力の小さい伸縮性に富んだ組織にて編成することにより、パンティ部の前後の締付に変化をもたせ、人体腹部の膨出を抑制すると共に、後側では緩めてヒップの膨らみが潰れないようにしたパンティストッキングが公知であるが、このようなパンティストッキングにおいては、パンティ部前側全体が一様に編成されているため、締付力を強化して腹部膨出の抑制効果を高めようとするれば、大腿付け根等、不要な部分にも締付力が作用し、着用感が悪くなるという問題が有った。

【0003】そこで、特公平7-18041号において

は、図4に示す如く、パンティ部前側のウエストバンド41からマチ部に至るVラインで囲まれた部分42を1×1ニットミスとウーリーモレ組織とし、パンティ部前側の大腿付け根付近からパンティ部後側のヒップライン以下の部分43及びそれに連なるパンティ部後側中央のシームラインに沿ったTベルト部分44を1×1ニットミス組織とすることによって、腹部分42に対して部分43の締付力が相対的に弱くなるようにして、腹部の膨出を抑えつつも上記部分43の着用感の改善を図っている。

【0004】しかし、上記のパンティストッキングにおいても、先に述べたものと同様にヒップ部分に広範囲に亘ってプレーン組織からなる伸縮性に富んだ部分45を形成しているため、ヒップ部が抑え付けられるのを防止する効果は認められるものの、より積極的にヒップ部を持ち上げる効果については充分とは言えなかった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は従来の技術の上記の点に鑑みて、腹部の膨出抑制効果及びヒップアップ効果に優れたガードルタイプのパンティストッキングを得ることを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】伸縮糸によりレッグ部、パンティ部、ウエスト部が一体的に連続編成されたパンティストッキングであって、パンティ部が、人体ヒップの左右の膨みに対応した左右一対からなり、夫々が対応するヒップの頂部を含み、且つ、各ヒップの自然状態での膨みに対して上方に偏位している丸形状部分、パンティ部の腹部のウエストバンドからマチ部にかけて、股下部分を通るVラインと腹部略中央から両サイドに向けて斜に下行するラインとで囲まれたダイヤ形状部分、前記Vライン上の脚上端付近を起点としパンティ部の側方から後部に向かうに連れて下行しパンティ部の後部ではヒップラインの上側に位置するヒップ補整ラインとレッグ部との間に設けた上レッグ帯状部分、前記ヒップ補整ラインとウエストバンドとで囲まれた部分であって、前記丸形状部分を除いたヒップ周辺部分から構成され、上記各部分の編組織を異ならせることによって、ダイヤ形状部分が最も締付力を強く、以下順に上レッグ帯状部分、ヒップ周辺部分、丸形状部分と締付力を小さくした。そして、丸形状部分をプレーン組織により編成し、ダイヤ形状部分を2×2リブ組織により編成し、上レッグ帯状部分を1×1リブ組織により編成し、ヒップ周辺部分を1×1メッシュ組織にて編成した。また、上記丸形状部分を、局所的な度目調節により、その部分における編目ループを拡大した立体編成とした。

【0007】

【発明の実施の形態】図1乃至図3に、本発明の実施形態のパンティストッキングを示し、以下、図面と共に説明する。

【0008】図において、本発明パンティストッキングは、ウエストバンド1からパンティ部2、レッグ部3（図中下半分は省略してある）まで伸縮糸により一体的に編成され、中央のシームライン4に沿って左右を縫合し一体としてなり、パンティ部2は、編組織を異ならせることによってなるダイヤ形状部分21、上レッグ帯状部分22、ヒップ周辺部分23、丸形状部分24、ガーターベルト部分25、及びマチ部分26から構成されている。

【0009】ダイヤ形状部分21は、パンティ部2の側面であって、股下のマチ部分26から斜に立ち上がるVライン5、5と、腹部の中央からやや外れた位置のウエストバンド1から、両サイドに向けて斜に下行し、人体の腸骨棘付近で前記Vライン5、5と交わる傾斜ライン6、6とで囲まれた人体腹部に対応した部分であり、充分な締付力が得られるように2×2リブ組織にて編成されている。

【0010】上レッグ帯状部分22は、前記Vライン5、5上の人体の脚上端付近を起点とし、パンティ部2の両サイドから後側に向かうに連れて下行し、パンティ部2の後側では、ヒップライン8（自然状態での人体ヒップの膨みの下限線）のやや上側であって、該ヒップライン8と並行するヒップ補整ライン7以下の部分であって、該ヒップ補整ライン7とVライン5、5及び、ガーターベルト部分25とで囲まれた部分であり、後述するヒップアップ効果を得るのに充分な締付力を得つつも脚の付け根のフィット感を阻害しないように、前記ダイヤ形状部分21よりやや締付力の小さい1×1リブ組織にて編成されている。

【0011】ヒップ周辺部分23は、前記ヒップ補整ライン7とウエストバンド1、及び、Vライン5、5、傾斜ライン6、6とで囲まれた部分であって、後に詳述する丸形状部分24を除いた部分であり、前記上レッグ帯状部分22より締付力が小さく上レッグ帯状部分22と丸形状部分24との中間的な締付力及び伸縮性が得られるように1×1メッシュ組織にて編成されている。

【0012】丸形状部分24は、人体ヒップの左右の膨らみに対応して独立した左右一対からなり、夫々が対応するヒップの頂部9を含み、且つ、自然状態でのヒップの膨らみに対してやや上方に偏位している2個の略円形の部分であり、締付力がヒップ周辺部分23よりも更に小さく、充分な伸縮性が得られるようにプレーン組織にて編成されている。

【0013】更に、該丸形状部分24、24は、編成時に同一コース内で局所的に度目調節を行うことにより、その部分の編目ループを拡大することによって編地を余剰させ、自然状態でヒップ周辺部分23等他の編地部分に対して略球状に膨出した（或いは弛みを生じている）立体編成としている。

【0014】ガーターベルト部分25、25は、パンテ

ィ部2の上レッグ帯状部分22と、レッグ部3との境界に沿って一定の幅を有する部分であって、上レッグ帯状部分22とプレーン組織にて編成されているレッグ部3との中間的な伸縮性及び締付力が得られるように、1×1メッシュ組織にて編成されている。また、マチ部分26は、2×2メッシュ組織にて前記丸形状部分24と同様の方法によりパンティ部2と一体に立体編成されているが、縫製により別途マチ付けを行っても良い。

【0015】上述の如く編成されたパンティストッキングは、着用時に、上レッグ帯状部分22をヒップライン8の下側に合わせ、ヒップの膨らみが丸形状部分24の中に収まるようにしながらウエストバンド部1を引き上げウエストラインに合せるようにする。

【0016】すると、図3に示す如く、ヒップライン8に沿ってある程度の幅を有し、ダイヤ形状部分21に次いで強力な締付力を有する上レッグ帯状部分22によって大腿上部及びヒップ下部の肉が両サイドから中央側に寄せられ、且つ、ヒップライン8に沿って押上げられる。その反面、プレーン組織にて編成され且つ立体編成されている丸形状部分24は、その立体的な編地の形状に加えられてプレーン組織自体が容易に伸びることによって、ヒップの膨らみを潰さないようにソフトにサポートする。

【0017】このため、上レッグ帯状部分22によって押し上げられたヒップ下部は、図3に2点鎖線で示される自然状態でのヒップの膨らみに対してやや上方に偏位している丸形状部分24内に保持され図中実線で示されるように丸形状部分24では押し上げられたヒップの膨らみが一層強調される。しかも、該丸形状部分24は、平面的に丸形状をなしていることに加えて、略球状に立体編成されていることにより、ヒップの自然な膨らみが形成されることになる。

【0018】そして、この際、丸形状部分24の周囲のヒップ周辺部分23の締付力が、丸形状部分24と上レッグ帯状部分22との中間的な強さとされているため、上レッグ帯状部分22から丸形状部分24に向けての段階的な締付力の変化によって、上述したヒップ下部の肉の上方への移動が助長され、且つ、丸形状部分24と上レッグ帯状部分22との伸縮量の差を吸収することにより身体に良くフィットして自然なヒップラインを形成できる。

【0019】更に、ダイヤ形状部分21は、締付力の中心がダイヤ形の幅が広がった中間部分に設定されるので、腹部、特に下腹の膨出を体型に即して効果的に抑制できる。

【0020】上記パンティストッキングの編成に使用する伸縮糸については、特に限定されるものではないが充分なパワーが得られるカバリング加工糸、ウーリー加工糸等を用いることが好ましい。

【0021】例えば、パンティ部2のガーターベルト部

25を除いた部分、即ちダイヤ形状部分21、上レッグ帯状部分22、ヒップ周辺部分23、丸形状部分24及びマチ部分26の各部分は、70デニールのポリウレタン弾性糸を14デニール、5フィラメントのナイロン糸でS方向、Z方向に二重にカバリングしたダブルカバードヤーン(DCY)と、50デニール、17フィラメントのウーリーナイロン糸(2本取り)とを交編し、ガーターベルト部25においては、上記ダブルカバードヤーンと30デニール、10フィラメントのやや細いウーリーナイロン糸(2本取り)とを交編することによって、パンティ部2の上レッグ帯状部分22とレック部3との中間的な締付力が得られるようにすることが好適である。

【0022】また、レッグ部3は、40デニールのポリウレタン弾性糸を14デニール、5フィラメントのナイロン糸でカバリングしたシングルカバリングヤーン(SCY)と、20デニール、3フィラメントのナイロン糸とを交編し、度目調節を行いマルチサポートタイプとすれば、パンティ部2のガードル機能と相乗的な効果が期待できる。

【0023】

【発明の効果】本発明のパンティストッキングは、上述の通り構成されているので、締付力の強いダイヤ形状部分により腹部、特に下腹部の膨出を効果的に抑制しつつも、脚の付根付近でのフィット感が良好であり、且つ、上レッグ帯状部分及びヒップ周辺部分の作用によりヒップ部を押し上げると共に、押し上げられたヒップは自然状態のヒップの位置よりやや上方に偏位している締付力

の小さい丸形状部分において、その膨らみが潰れないようにソフトにサポートされることにより、その位置で保持され、顕著なヒップアップ効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態のパンティストッキングを示す要部正面図である。

【図2】本発明の実施形態のパンティストッキングを示す要部背面図である。

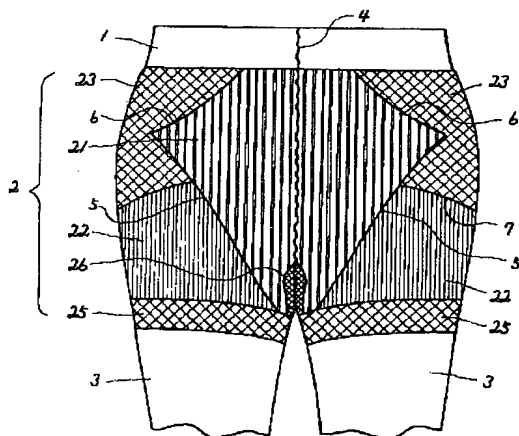
【図3】本発明の実施形態のパンティストッキングを示す着用状態における要部側面図である。

【図4】従来のパンティストッキングの着用状態における要部側面図である。

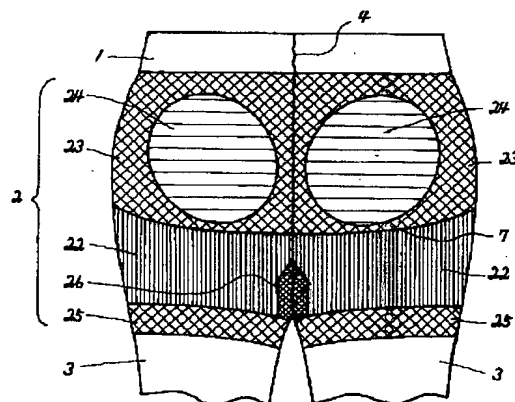
【符号の説明】

- 1 ウエストバンド
- 2 パンティ部
- 3 レッグ部
- 5 Vライン
- 6 傾斜ライン
- 7 ヒップ補整ライン
- 8 ヒップライン
- 9 ヒップ頂部
- 21 ダイヤ形状部分
- 22 上レッグ帯状部分
- 23 ヒップ周辺部分
- 24 丸形状部分
- 25 ガーターベルト部分
- 26 マチ部分

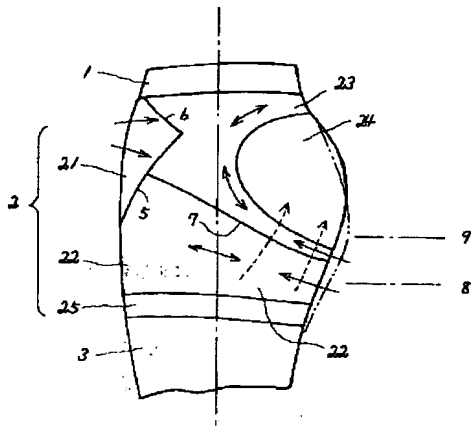
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

